



代表質疑から

第3回定例会では4会派が代表質疑を行いました。その中から一部を紹介します。
録画放映は各二次元コードからご覧いただけます。

立憲社民 まつおはるよ議員



令和7年8月の災害対応

問 罹災証明申請件数等を含めた本市の被害状況と支援の主な内容は。

答 8月7日から大雨による本市の被害状況は、人的被害はなかったものの、思川と本名川の氾濫等に伴う住家の浸水被害や農業用施設の被害などが発生しており、9月3日までに、14件の罹災証明の申請を受け付け、一部損壊2件、床上浸水6件などとなっている。また、台風第12号の被害状況は、死者1名、軽傷者4名の人的被害が発生したほか、和田川の氾濫等に伴う住家の浸水被害や橋脚の流失、道路の冠水などが発生しており、9月3日までに、41件の罹災証明の申請を受け付け、半壊2件、一部損壊4件、床上浸水13件などとなっている。支援としては、災害見舞金の支給や床上浸水した家屋の消毒、保健師による健康相談、粗大ごみ処理手数料の減免などを行っており、また、台風第12号では、現地調査を踏まえ、災害廃棄物の収集を行っている。



▲公民館の前に積まれた災害ごみ

屋内運動場の空調設備整備

問 国の空調設備臨時特例交付金の概要について、現状と課題は。

答 国においては、公立学校の屋内運動場について、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る必要があるとしており、令和6年9月時点の空調設置率が約2割にとどまっていることから、さらなる設置促進が必要な状況であるとしている。

問 市立小・中学校における屋内運動場空調設備整備事業の概要および運用までのスケジュール案は。また、空調設備整備に対する本市の考えと今後の取り組みは。

答 同事業は、指定避難所である小・中学校の屋内運動場に空調設備を整備するもので、7年度末までに設計業務を完了し、8年度に空調設備を整備する予定である。今後は、学校規模適正化の観点などから検討を要する学校等も踏まえて、同交付金の対象期間である15年度までに、年10校程度ずつ進めていく予定である。

磯地区の観光振興

問 仙巖園駅利用者数の当初見込みと実績は。また、仙巖園、旧鹿児島紡績所技師館（異人館）および磯海水浴場の前年度と比較した入場者数は。同地区での今後の観光における課題認識についての見解は。

答 同駅の利用者数は、当初の1日当たり200～300人の乗車見込みに対し、駅開業後、令和6年度では平均314人と見込みを上回った。仙巖園の入園者数は公表されていないが、同駅開業後、7年7月末までで、前年同時期より約17%増加した。異人館の同時期の入館者数は6,505人で、前年同時期より1,882人、約41%の増、磯海水浴場の7年度の



▲JR仙巖園駅

来場者数は14,246人で、前年度より4,650人、約48%の増となった。

同地区は世界文化遺産をはじめ、桜島と錦江湾の雄大な自然景観が眼前に広がるビーチ、名物の両棒餅など、本市の歴史や文化、自然、食を存分に体感できるエリアであり、これらのポテンシャルを最大限に生かすため、官民連携による世界文化遺産の理解増進を図るイベントや、磯海岸を通年で利活用するなどの取り組みにより、エリア全体の回遊性の向上に努め、さらなる交流人口の拡大につなげていきたい。

鹿児島市立美術館照明器具LED化

問 「第39号議案 工事委託契約締結の件」（照明器具LED化工事委託）の、CO₂削減を含む事業の効果と広報は。

答 今回のLED化による効果は、作品本来の色の忠実な再現や展示空間の雰囲気づくりに寄与するとともに、年間約35トンのCO₂削減を見込んでおり、ホームページやSNS等を活用し、事業の効果を分かりやすく広報していきたい。



▲市立美術館

児童生徒性暴力等の防止

問 教員性暴力等防止法等の確認と、被害の未然防止策等が示された国からの通知を受けての本市の取り組み状況は。

答 合同校長研修会において、職員への服務指導、研修実施を指導するとともに、直ちに教室やトイレ、更衣室等の点検を行うよう指示したところ、不審物の発見の報告はなかった。今後も校内の定期的な点検を行うとともに、国や県、本市が作成した研修資料等を活用し、さまざまな機会を捉えて繰り返し、かつ計画的に研修等を実施するよう、指導している。

市民連合 合原ちひろ議員



職員採用

問 職員採用試験の過去5年間の受験倍率と受験申込者数の傾向は。

答 一般事務・上級職の採用試験の受験倍率は、令和2年度から6年度まで順に、5.6、5.3、6.0、3.9、7.4倍である。また、受験申込者数は、3年度から7年度まで順に、613、602、506、535、495人となっており、減少傾向にある。

自主財源を高める方策

問 自主財源を高める方策は。

答 自主財源の確保は、行財政運営の自主性や安定性を確保する上で重要であることから、今後とも、市税徴収率の向上や未利用地の売却、市施設へのネーミングライツの導入などの取り組みを推進するとともに、ふるさと納税の取り組み強化や宿泊税導入の検討など、新たな財源の開拓に努めていきたい。

市営合葬墓の増設

問 使用許可件数等の現状と、増設のタイミングの考えは。

答 これまでの使用許可件数は、当初の年間見込み60件の2倍

を超えており、想定以上のニーズがあったものと考えている。合葬墓の増設については、これまでの実績や今後の使用状況等を踏まえ、検討していきたい。

多機能複合型スタジアム整備候補地

問 多機能複合型スタジアム整備候補地として鹿児島サンロイヤルホテル跡地を検討するか。

答 同ホテル敷地は、候補地となり得る場所の一つと考えている。一方で、隣接地を含めた地権者等から一定の理解を得るなどの必要があるほか、同ホテルの移転については、県の住吉町15番街区利活用事業提案評価委員会による検討結果が示された段階であることから、今後の動向も見守っていき



▲ノエビアスタジアム神戸

水泳授業の民間委託等

問 水泳授業の民間委託などで経費縮減に取り組む考えは。

答 民間委託等については、学校の立地状況等を踏まえながら、修繕に多額の費用が見込まれるプールの維持管理費等の縮減に加え、教員と専門の指導者が一緒に指導することによる児童生徒の泳力および教員の指導力の向上、プール管理に係る教員の負担軽減等が見込めることから、導入に向けた検討を行っていき



宿泊税の検討状況

問 本市における宿泊税の検討状況は。

答 宿泊税については、外部有識者で構成される検討委員会を設置し、これまで2回開催する中で、導入の必要性等が認められたことから、今後に向けて、現在は、導入自治体の事例等を参考にしながら、具体的な使途や課税要件など制度内容等を精査しているほか、宿泊事業者へのアンケート調査を実施するなど、広く意見を伺いながら、検討を進めている。

部活動地域展開の課題と展望

問 部活動の地域展開を進める上での課題と展望は。

答 地域展開を進める上での課題としては、費用負担の在り方をはじめ、運営団体等の整備や支援、指導者の確保と質の保証などがあり、今後とも、国や県の動向を注視しながら、各学校の実情に応じた休日の地域展開が図られるよう、モデル事業の検証等を行って



▲練習に励む野球部員（市立鹿児島玉龍中学校）

不適切保育の防止

問 不適切保育の防止等に関する本市の今後の考え方は。

答 不適切保育は、子どもの心と体に悪影響を及ぼす可能性のある人権を尊重しない関わりであることから、今後とも本市ガイドラインを踏まえ、不適切保育の未然防止が各保育所等で継続して徹底されるよう、取り組みを進めていきたいと考えている。

また、令和7年8月に国のガイドラインが改訂されたことから、本市ガイドラインについても必要な見直しを検討していきたい。

市立学校のトイレ洋式化

問 今後の市立学校のトイレ洋式化の基本的な考え方は。

答 今後においては、これまでと同様、児童生徒の気持ちに寄り添う対応を図るとともに、各家庭における洋式トイレの普及状況やバリアフリー化、学校の実情を踏まえながら、洋式化を基本とする。

自民党市議団 奥山よしじろう議員



外国人受け入れの在り方

問 「JICAアフリカ・ホームタウン」構想をどう評価するか。また、騒動になった原因は何であると考えるか。

答 同構想は、各自治体が築いてきたアフリカ諸国との関係をさらに強化することで、アフリカの課題解決と日本の地方活性化に貢献することを目的に、愛媛県今治市など4市を認定し、交流を後押しするものとされており、各市の国際交流が促進されるものと考えている。

また、今回の件は、移民の受け入れ促進や相手国に対する特別就労ビザ等の発給を行うといった事実と異なる内容を含む報道や発信が国内外で行われたことによるものと認識している。

問 今回の騒動は、多くの外国人受け入れを行うことに対する国民の不安の表れ、もしくは、危機感であると考えが、市長は、外国人受け入れに対する国民感情をどのように認識しているか。

答 国民感情については、「社会に多様性が生まれる」、「労働力不足の解消につながる」など、好ましいと感じる方がいる一方で、「文化・習慣・言葉の違いによるトラブルが生じる」など、不安を感じる方もいるものと認識しており、丁寧に取り組みを進めることが大切であると考えている。

※JICAは、令和7年9月25日に「JICAアフリカ・ホームタウン」構想を撤回することを公表しました。

災害時のし尿処理対策

問 災害時の生活環境を整え、公衆衛生の確保を図るための平成29年3月の国土交通省通知による対応は、精神的にも身体的にも効果が期待できると思うが、どのように評価するか。

答 同通知は、下水道処理区域内において、災害時の利用を想定した合併処理浄化槽の設置を可能とするものであることから、浄化槽の設置により、下水道管が破損した場合においても水洗トイレを使用できるものと考えている。

問 下水道に接続する避難所等の浄化槽は、災害時対応として残すべきであり、すでに接続した避難所等については、緊急事態に備え、新たに浄化槽を設置すべきと考えるが見解は。

答 下水道処理区域内の避難所等における合併処理浄化槽の活用については、平時の維持管理方法やその費用負担、また、断水により上水道が使用できない場合の対応などの課題が考えられることから、先進事例を研究するとともに、関係部局とも協議していきたい。



▲災害用トイレ（テント式）

交通事業経営計画見直し

問 交通事業経営計画見直しの考え方と主な改正点は。

答 同計画の見直しは、人件費増や物価高騰など経営環境が大きく変化していることや、市電・市バスの人員確保、施設設備の安

全対策の取り組み等を踏まえて実施するもので、主な改正点は、人員の確保や安全運行に関する方策・取り組みを追加するほか、運賃改定効果等を踏まえた財政見通しの修正等を行うものである。



▲交通局の車両基地

問 経営改善には運賃改定が必須と考えるが、改定しない場合の影響は。

答 計画期間内に運賃改定をしなかった場合、令和10年度以降、資金不足比率が経営健全化基準を超えるものと見込まれ、国から経営健全化計画の策定が義務付けられる。

問 運賃を改定する場合の時期と改定額およびその根拠は。

答 8年8月をめどに、財政見通しにおける軌道事業の黒字化や他都市の状況を踏まえ、現行170円を200円とする方針を固めたところである。

問 運賃改定を含む計画見直しの今後の取り組みとスケジュールは。

答 今後においては、7年9月下旬から計画見直し素案に関するパブリックコメント手続きを行い、年内に見直し計画を策定する。市電の運賃改定については、8年の第1回定例会に関係議案を提出し、議決を得た上で、市民等への周知を図り、同年8月に実施したいと考えている。



▲車両基地で出発を待つ市電

公明党 こじま洋子議員



平和啓発事業

問 令和7年に実施した平和啓発事業に今後どのように取り組まれるのか、市長の思いは。

答 7年は、本市が「平和都市」を宣言してから35年、また戦後80年の節目の年であることから、より一層の平和啓発を図るため、従来の啓発事業に加え、2月に本市小学生と嘉代子桜の苗木を記念植樹し、8月には中学生のヒロシマ平和学習派遣や、ナガサキ原爆展等の記念事業を実施した。

今後においては、これらの取り組みを検証する中で検討する必要があると考えているが、市民一人ひとりに平和を尊ぶ心が育まれ、次世代に継承されるよう、各面から取り組んでいきたい。



▲鹿児島・長崎両市長のあいさつパネル

感染症対策

問 本市のこれまでの感染症対策と今後の取り組みは。

答 本市ではこれまで、感染症対策の一環として、ホームページで、百日ぜきや新型コロナウイルス感染症など、特に流行が見られる感染症の情報を随時発信するとともに、その種類に応じて、疫学調査や接触者の検査を行うなど、感染拡大の防止に努めている。

4 今後、新たな感染症の発生に備え、関係職員向けの研修や医療

機関との合同訓練など、体制強化に向けた取り組みも継続的に行っていく。

女性や妊産婦・乳幼児に配慮した災害用備蓄品

問 大規模災害に備えて備蓄している女性や妊産婦・乳幼児に配慮した他都市の備蓄品の内容と、本市でのそれらの備蓄品の拡充についての見解は。

答 他都市では大規模災害に備えて、本市が備蓄する生理用品、哺乳瓶、乳幼児用ミルク等のほかに、防犯ブザー、母乳パッド、離乳食等を備蓄している事例もある。

これらの備蓄品の拡充については、避難所の生活環境の向上につながる一方、費用や保管場所の確保も必要になることから、品目や数量について他都市の取り組み状況等を注視していきたい。



プレコンセプションケアの推進

問 本市の取り組み状況と今後の方向性は。

答 本市こども計画において、若者へのライフプランニング等に関する支援としてプレコンセプションケアを位置付け、大学生等を対象に同ケアを含めた妊娠・出産・子育てに関する知識や、結婚、仕事などの人生設計について理解を深めるライフデザインセミナー等を実施するなど、取り組みの推進を図っている。

今後においては、引き続き同セミナー等を実施するほか、国の動向を注視しながら、積極的な情報発信を行っていきたい。

奨学金返還支援（代理返還）制度

問 奨学金返還支援（代理返還）制度の概要ならびに制度導入による従業員および事業者のメリットは。また、本市の奨学金代理返還支援制度導入促進補助金の事業概要および周知の取り組みは。

答 同制度は、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受けていた従業員に代わり、事業者が返還額の全部または一部を返還する仕組みで、事業者が同制度を導入することにより、従業員の経済的負担を軽減するとともに、事業者における人材確保や定着につながるほか、法人税課税対象所得の軽減などのメリットがある。

本市の事業は、同制度を新たに導入した市内に本店または事業所を有する中小企業者等に、1者当たり20万円の補助金を交付することにより、同制度の導入促進を図るものである。

周知・広報については、市ホームページや労政広報紙「中小企業のひろば」等の活用に加え、中小企業の加入する経済団体等へもチラシを配布するなど、連携して取り組んでいく。

屋内運動場空調設備整備事業

問 避難所に指定されている市立学校の屋内運動場に空調設備を整備することで期待される効果と事業を推進する上での課題は。また、課題を踏まえた今後の取り組みは。

答 空調設備が整備されることで、避難者の健康管理等を含めた避難所機能の強化につながることに加え、教育活動での活用も考えられるが、避難所に指定されていない学校への整備や、教育活動において使用する際の運用方法などが課題である。

避難所に指定されていない学校への整備については、国の動向を注視するとともに、関係部局と協議していきたい。また、教育活動での活用については、学校教育活動の在り方等について、関係部局と連携し、ガイドラインを作成していきたい。





▲屋内運動場（市立中山小学校）



個人質疑から

第3回定例会では13人の議員が個人質疑を行いました。
 その中から一部を紹介します。
 録画放映は各二次元コードからご覧いただけます。
 (掲載記事は質疑順ではありません。)

第3回定例会

9月16日 (1日目)	9月17日 (2日目)	9月18日 (3日目)
 中元 かつあき (自民党市議団) のぐち 英一郎 (にじとみどり) 永谷 さよこ (立憲社民) 松尾 まこと (公明党) 本田 かずき (無所属)	 たてやま 清隆 (日本共産党) 池田 ゆうせい (無所属) 大森 忍 (立憲社民) 山下 要 (自民党市議団) 大園 たつや (日本共産党)	 和 るりか (立憲社民) 大原 葉 (無所属) 米山 たいすけ (自民党市議団)



行政運営

財政運営

問 財政運営の在り方に対する市長の見解は。

答 扶助費等の社会保障関係経費や人件費の増加など、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれる中、都市基盤整備やデジタルを活用した地方創生など、本市を取り巻く喫緊の課題に対応する諸施策を確実に推進するため、これまで以上に重点的かつ効率的な予算配分を行う必要があると考えており、時代の情勢に合った事業への見直しや民間知見の活用などに積極的に取り組んでいきたい。

本市公共施設の男女トイレの数

問 本市公共施設の男女トイレの数を人口に比例した数にするについての見解は。

答 日常的に市民等が利用する本市公共施設のトイレの総数は、男性用が約2,000個、女性用が約1,200個で、約6対4の割合に対し、令和7年4月1日現在の本市の推計人口は、男性が約27万人、女性が約31万人で、約4対6の割合となっており、人口の割合に比べ女性用トイレが少ない状況である。

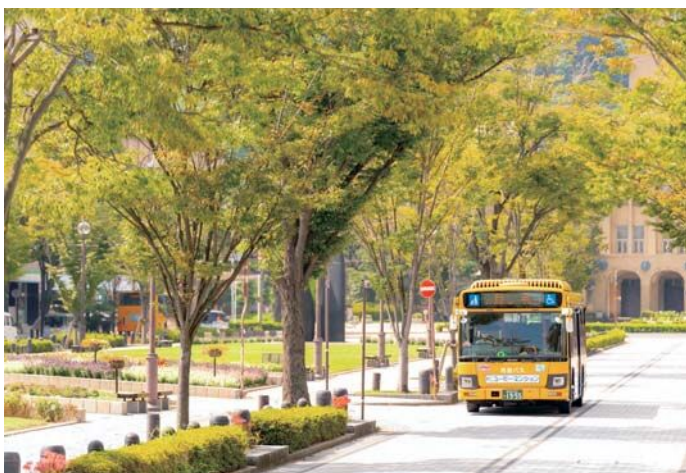
女性用トイレに対しては、一部の施設において、「女性用の数が少ない」などの意見が寄せられており、今後、利用状況等を踏まえ、改善等の対応を各管理者と協議していきたい。

公共交通政策

問 国に要望している運転者の処遇改善につながる事業者への直接的な補助制度創設の現状および公共交通ビジョンの策定主体として路線の再編に取り組む本市の見解は。

答 運転者の処遇改善について、現時点では、国において直接的な補助制度の創設に至っていない。今後も引き続き、中核市市長会などのさまざまな機会を通じて、国へ要望していきたい。

バス路線の再編については、公共交通を取り巻く環境が非常に厳しい状況にある中、利便性・効率性の高い持続可能な交通ネットワークの形成は大変重要であることから、交通事業者の理解・協力を得ながら、本市が中心となって協議等を推進していきたい。



▲みなと大通りを走る市バス



市民生活

イラストレーター等への支援

問 本市のイラストレーター等が市民へ文化芸術の魅力を伝えることについて期待することは。また、発表場所の提供およびイラスト等の活用事例は。

答 本市のイラストレーター等の地元での活動は、市民がより身近で気軽に文化に触れられる環境づくりに資するものであり、心の豊かさを育み、まちの活力創出、地元への愛着につながるものと考えている。市では、みなと大通り別館の「市民アートギャラリー」や天文館図書館のギャラリーなど、広く市民の方々に発表の機会を提供している。また、姉妹都市等のラッピング電車や鹿児島島マラソンでのポスターなどでイラスト等を活用している。



▲市民アートギャラリー



健康・福祉

DNA R プロトコル[※]

問 高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう支える地域包括ケアの視点から、DNA R プロトコルの周知についての考え方は。

答 本市では、地域包括ケアの推進を図る方策の一つとして、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族や医療・ケアチームと話し合い、共有する「人生会議」の普及・啓発に取り組んでおり、DNA R プロトコルの趣旨は、その考え方とも合致していることから、今後さまざまな機会を捉えて、医療・介護関係者等に周知していきたい。

※本市では、本人の蘇生拒否の意思とかかりつけ医の指示に基づき、救急隊が心肺蘇生を中止することができる仕組みとして、令和7年4月1日から運用している。



子育て

子ども見守り強化事業

問 子ども見守り強化事業の実施団体数およびさらなる充実と広がりをつくる取り組みの必要性についての見解は。

答 子ども食堂等が子どもの居宅等を訪問し状況の把握と食事の提供等を行う同事業の実施団体は、令和7年7月末現在で6団体である。同事業の利用をきつ



けとして利用者との関係性を構築し、さまざまなサービスや支援につなげることにより、児童虐待の未然防止や早期発見を図るものであることから、引き続き、実施団体の拡充や支援が必要な世帯を把握し利用につなげるなど、さらなる充実に努めていきたい。

鹿児島市みらいトーク

問 令和7年8月に開催された「鹿児島市みらいトーク～子どもたちと鹿児島市を語る会～」の開催趣旨と内容および出された課題に対する市長の思いは。

答 「みらいトーク」は、子どもが意見を表明する機会の創出を目的に実施し、子どもたちに関わりのある市政課題等をテーマに、直接、市長と意見交換を行うもので、今回の取り組みを通し、高校生が鹿児島市のことを心から大切に考えていることを大変うれしく思ったところである。その中で出された課題は、いずれも、若い世代、子育て世代に選ばれるまちの実現につながるものであり、引き続き、全ての方々に住みたいと感じてもらえる魅力あるまちづくりに取り組むとともに、子どもたちが目指す将来像を実現できるよう、成長の機会をしっかりとつくっていきたい。



▲市長と意見交換する高校生ら

産業・農業

林業の担い手確保・育成

問 林業の担い手の確保・育成のための現在の取り組み状況と評価および今後の展望は。

答 森林環境譲与税を活用し、林業退職金共済等の保険料や、測量用ドローンなどのスマート林業機械の導入経費に助成を行うことで、雇用者の確保や作業の効率化による働きやすい環境づくりを進めており、担い手の確保・育成に寄与しているものと考えている。今後はこれまでの支援に加え、令和7年度に県が開校したかごしま林業大学の卒業生に本市の林業の担い手になってもらうための支援策を検討するなど、人材の確保を図り、森林整備を進めていきたい。



食料供給困難事態への本市農業の備え

問 近年、世界的に食料の生産や供給が不安定となっているが、平時において本市の農業はどのように備えていくのか。

答 本市としては、新鮮で安全・安心な農林水産物を安定的に供給するため、引き続き、生産基盤の整備や新規就農者など次世代の担い手の確保・育成、スマート農林水産業の推進などによる生産性の向上に取り組むほか、気候変動に適応する生産技術の確立や適応品種への転換などを検討しているところ



▲ドローンによる農業散布

ろであり、今後とも、農林水産物の安定生産に努めていきたい。

観光

スケートボード等専用施設整備

問 整備に向けた進捗状況および暑さ対策、今後のスケジュールは。

答 令和6年度に策定した基本構想を踏まえ、7年度は、競技者、学生、地域住民等で構成するワークショップや民間事業者へのヒアリング等で得た意見等を参考に、現在、施設設計および造成に向けた測量等を実施している。暑さ対策については、費用面等の課題から現時点で屋根の設置は考えていないが、敷地内に日よけのできる場所や管理棟内に空調設備を備えた休憩スペースを設けることなどを検討している。今後は、8年度に造成、本体工事を行い、9年度中に供用を開始する予定である。



▲スケートボードランプ

まちづくり

田上小学校周辺の土地区画整理事業

問 地域住民の意向把握の状況と、今後の県の新川河川改修ならびに県道鹿児島東市来線整備を見据えた同地域の方向性は。

答 同地域に対しては、町内会長など地元代表者と検討状況の情報共有のほか、まちづくりの考え方についての意見交換を行っており、「新川や県道の改善を優先してほしい」などの意見が出ている。同地域の土地区画整理事業は、平成17年に提出された陳情をきっかけにこれまで検討を行ってきたが、今後の方向性については地元の総意が必要であると考えており、引き続き、意向把握に努め、丁寧に対応していきたい。



▲田上小学校前の新川と県道鹿児島東市来線

市営住宅の家賃減免制度

問 家賃減免制度の対象と基準は。また、令和6年度は1,417世帯が利用したとのことだが、さらに多くの世帯が減免を申請できる可能性および同制度のさらなる周知徹底についての見解は。

答 減免対象は、収入が著しく低額である世帯や年度途中で収入の変動があった世帯などで、収入月額が25,000円以下の場合には2分の1の減免、50,000円以下の場合には4分の1の減免としている。家賃算定とは異なり、障害年金や仕送りなどの非課税所得も含めて審査を行っており、入居者が申請するものであることから、未申請の世帯もあるものと考えている。引き続き、入居時の説明会で周知を図るほか、全ての入居者に年1回送付する家賃決定通知に、同制度の概要を記載するなど、さらなる周知を図っていききたい。

教育

幼児教育と小学校教育の円滑な接続

問 「幼保小連携研修会」の概要と、公私・施設類型の垣根を越えたプラットフォームとして強化・拡充する考えは。

答 幼保小連携研修会は、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が相互の取り組み等について共通理解を深めることを目的に、市内21ブロックで、授業参観や保育参観を行い、小学校への円滑な接続のための「幼保小の架け橋プログラム」の理解を深めることを主な内容として実施している。

同研修会において、多くの参加者が小学校への接続について理解を深め、いわゆる「小1プロブレム」への対応が行われているなど、一定の成果を上げていることから、さらなる充実を図っていききたい。



▲幼保小連携研修会の様子

かごしま市議会だより より読みやすくリニューアル

議長が設置する任意組織「議会改革推進ワーキンググループ」において、幅広い年代の方に「手に取っていただける市議会だより」を目指し協議を重ね、8月号からリニューアルしました！

- ・横書きレイアウトへ
- ・文字を大きく
- ・二次元コードで録画放映と連携
(代表・個人質疑をご覧いただけます)



こども市議会探検「市議会に行ってみよう！」開催レポート(令和7年8月6日・8日)

鹿児島市議会では、「議会改革推進ワーキンググループ」において主権者教育について調査・検討を重ねてきました。

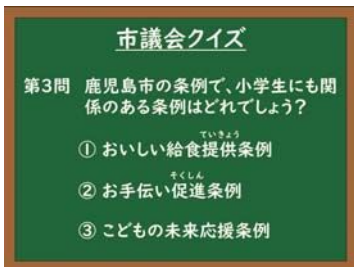
そうした中、市議会への理解と関心を深め、市議会をより身近に感じてもらうことを目的として、こども市議会探検「市議会に行ってみよう！」を初めて開催しました。小学4～6年生およびその保護者を対象に募集したところ、定員を大幅に上回る申し込みがあり、合計103人 37組(うち対象児童41人、個別対応含む)にご参加いただきました。

参加者は市議会の役割や仕組みを学習し、議員と交流を深めました。

●8月6日プログラム

① 市議会ってなんだろう？ ・市議会クイズ

市議会と市民生活の関わり等について学び、市議会に関するクイズに挑戦しました。



② 議員さんに聞いてみよう

代表児童が本会議さながらに登壇し、普段疑問に思っていることなどを、議員へ堂々と質問しました。



- ・なぜ市議会議員になろうと思ったのですか。
- ・議員さんになってうれしかったことは何ですか。

議員は、自身の経験を交えながら丁寧に回答しました。



委員会から

子ども・子育て支援金制度

問 後期高齢者医療特別会計補正予算は、令和8年度の子ども・子育て支援金制度の施行に伴い、後期高齢者医療制度の被保険者から同支援金を徴収するため、後期高齢者医療徴収システムの改修等を行うものだが、同支援金制度の概要と財源確保に関する国の考え方は。

答 同支援金制度は、わが国が直面する最大の危機である少子化や人口減少に対し、社会全体で子どもと子育て世帯を支援していくため、「こども・子育て支援加速化プラン」の抜本的な給付拡充の財源の一部に充てることを目的に創設されたもので、財源確保については、国によると、3.6兆円のうち、2.6兆円を既定予算の最大限の活用等および歳出改革等による公費節減の効果で、残りの1兆円を同支援金で確保するとしており、8年度の同医療制度の被保険者1人当たりの平均月額額は200円を見込んでいる。

問 同支援金制度については、世代を超えて、子どもや子育て世帯を応援するという考え方を市民に理解してもらうことが重要だと考えるが、同制度の周知・広報に関する今後の取り組みは。

答 市民のひろばや市ホームページ等のほか、保険料決定通知書にチラシを同封するなどの方法を考えているが、具体的な内容については、県後期高齢者医療広域連合の対応状況を踏まえ、検討したい。

③ 議会探検ツアー・クイズラリー

議員と一緒に議長室や議会図書室等各所で出題されるクイズを解きながら探検しました。



④ 修了証授与等

議長から参加児童一人ひとりに修了証を授与。児童がそれぞれ感想を発表しました。



●オンライン開催・個別対応

8月8日は大雨により現地開催を中止した上で、急きょプログラムを変更し、オンライン開催としました。なお、参加できなかった児童の皆さんに対し、夏休み期間中、希望者には個別に対応しました。



●参加者の声

- ・今まで「市議会ってなんだろう…」と思っていたけど、今日の体験でどんなことをする場所なのか分かった。(児童)
- ・市議会が身近に感じられた。(保護者)
- ・子どもだけでなく、親も勉強になった。(保護者)

議案等に対する各会派等の表決態度(令和7年第3回定例会)

○賛成 ×反対

	件名	自民党市議団	立憲社民	公明党	市民連合	日本共産党	にじとみどり	無所属A	無所属B	無所属C	無所属D	無所属E	無所属F	結果
議案	▼令和7年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	▼令和7年度鹿児島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)													
	▼鹿児島市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼工事請負契約締結の件〔鹿児島市民文化ホール空気調和その他設備改修工事〕													
	▼工事請負契約締結の件〔鹿児島市立科学館展示更新工事〕													
	▼工事請負契約締結の件〔城西中学校校舎新築その他本体工事〕													
	▼工事請負契約締結の件〔紫原中学校校舎新築その他本体工事〕													
	▼工事請負契約締結の件〔坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事〕													
	▼工事委託契約締結の件〔鹿児島市立美術館照明器具LED化業務〕													
	▼鹿児島市立高等学校授業料等に関する条例一部改正の件													
議案	▼町の区域の変更に関する件〔田上町及び五ヶ別府町の各一部〕													同意
	▼住居表示の実施についてその区域及び方法を定める件〔田上町及び五ヶ別府町の各一部(街区方式)〕													
	▼工事請負契約締結の件〔玉里団地住宅28号棟新築本体工事〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	▼自動車購入の件〔水槽付消防ポンプ自動車〕													
	▼鹿児島市手数料条例一部改正の件													
	▼鹿児島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市議会議員及び鹿児島市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例一部改正の件													
	▼令和7年度鹿児島市一般会計補正予算(第3号)													
	▼令和7年度鹿児島市特別会計・企業特別会計補正予算関係〔5件〕													
	〔・介護保険特別会計(第2号)・病院事業特別会計(第1号)・交通事業特別会計(第1号)・公共下水道事業特別会計(第1号)・船舶事業特別会計(第1号)〕													
陳情	▼令和7年度鹿児島市一般会計補正予算(第4号)													不採択
	▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	▼あはき・柔整広告ガイドラインの適正かつ積極的な運用を求めることについて	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

会派名等	議員数	所 属 議 員 名	会派名等	議員数	所 属 議 員 名
自民党市議団	17人	小森こういちろう いけやま美月 西 洋 介 山下 要	市 民 連 合	4人	合原ちひろ 伊地知紘徳 三反園輝男 片 平 孝 市
		中元かつあき 霜 出 佳 寿 米山たいすけ 佐 藤 高 広	日 本 共 産 党	3人	園 山 え り たてやま清隆 大園たつや
		瀬戸山つよし 奥山よしじろう 川 越 桂 路 山 口 健	にじとみどり	2人	のぐち英一郎 大 園 盛 仁
		古 江 尚 子 仮 屋 秀 一 中 島 蔵 人 平 山 哲	無 所 属 A	1人	大 原 葉
		入 船 攻 一	無 所 属 B	1人	田代よしき
			無 所 属 C	1人	大木ひかる
立 憲 社 民	7人	うかりともえ 永谷さよこ 和 るりか まつおはるよ	無 所 属 D	1人	せぐち和浩
		向江かほり 平山タカヒサ 大 森 忍	無 所 属 E	1人	本田かずき
公 明 党	6人	小南まさゆき 甲斐ひろのぶ 上入佐あゆみ こじま洋子	無 所 属 F	1人	池田ゆうせい
		松尾まこと 長 浜 昌 三			

決算特別委員会の設置

令和6年度の一般会計および特別会計（企業特別会計を除く）決算議案を審査するため、9月18日に「決算特別委員会」を設置し、議長の指名により委員を選任した旨の報告がありました。

決算特別委員会委員
(◎委員長 ○副委員長)

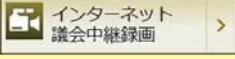
- ◎ 松尾まこと
- 山下 要
- いけやま美月
- 向江かほり
- たてやま清隆
- 仮屋秀一
- 小南まさゆき
- まつおはるよ
- 西 洋 介
- のぐち英一郎
- 三反園輝男

また、令和6年度企業特別会計決算議案については、所管の「産業観光企業委員会」で審査します。

審査は、「決算特別委員会」「産業観光企業委員会」とともに11月4日から行う予定です。

「議会中継」はスマートフォン
などでもご覧いただけます

- 本会議の様様をインターネットで配信しています。
- リアルタイムで視聴できる「生中継（本会議中のみ配信）」と、いつでも視聴できる「録画放映」があり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で視聴できますので、ぜひご覧ください。
- 録画放映は、生中継終了後4日程度（土・日曜日、休日を除く）でご覧いただけます。
- 本会議の日程については市議会ホームページでご確認ください。

〈アクセス方法〉
鹿児島市議会ホームページトップ → 

※右の二次元コードからもご覧いただけます。



※生中継は本庁、各支所（谷山・伊敷・吉野・吉田・桜島・喜入・松元・郡山）、東桜島合同庁舎のモニターテレビでも視聴できます。

議場見学のご案内

- 随時、議場等の見学を受け付けています。
- 議場を見てみたい、市議会の役割や仕組みを聞きたいなど、希望される方は下記の二次元コードからお申し込みください。
- 市議会会期中などを除く
平日（月～金曜日）
午前9時～午後5時
- 議場使用のため、ご希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。



お申込みはこちらから

